

A simple line drawing of two birds and a wave. One bird is on the left, facing right, and the other is on the right, facing left. Below them is a stylized wave with three small circles above it, suggesting bubbles or water droplets. The background is a light beige color with a subtle, wavy texture.



明々庵から街並を望む

平成22年 11月
(令和6年10月改訂)

家屋・屋敷等

Meime-an (Tea House)

B-4 明々庵

茶人として有名な殿さま不昧公のこのみによって、家老有澤家の屋敷に建てられた茶席。その後転々とし、昭和41年の不昧公150年祭を機に、この地に移された。



Bukeyashiki (Samurai Residence)

B-4 武家屋敷

江戸時代初期から中級武士が「屋敷替え」によって入れ替わり住んでいた所で、約250年前の古い姿のまま保存され、市の文化財に指定されている。裏には、「史記」研究の滝川亀太郎博士が、一時住んでいたことから顕彰碑が建てられている。



Tanabe Museum of Art

A-4 田部美術館

田部家が23代にわたって収集した調度品、特に茶道に関わる美術品などが収蔵されている。昭和54年、建築家菊竹清訓氏の設計によって建てられた。

Lafcadio Hearn Memorial Museum and Former Residence

A-4 小泉八雲旧居(ヘルン旧居)と記念館

来日したラフカディオ・ハーンが小泉セツと明治24年6月から5ヶ月間住まいした武家屋敷である。ここでセツ夫人から、日本の風俗、習慣、行事など、多くのことを聞き、多くの作品を書き残した。隣に、八雲にちなむ多くの資料が収蔵されている記念館がある。



Shimane University Satellite Museum (Former Okudani Dormitory)

C-3 島根大学 旧奥谷宿舎

旧制松江高校に勤めた外国人教師が過ごした大正時代の洋館。古くなったものを改修し、記念館として活用されている。



神社・仏閣

Senju-in Temple

C-3 高野山 真言宗 千手院

松江城築城の折、「鬼門押え」として、城の土を埋めたという。出雲霊26番札所寺で、春の「しだれ桜」は有名である。高台にあり、古い城下の佇まいと城を遠望するスポットにもなっている。



Junkou-ji Temple

D-4 浄土真宗 本願寺派 順光寺

松平直政公が初陣の時、側近であった神谷源五郎の母君が、本願寺より軍資金を借りたことから、その恩返しのため、この寺を建てて、神谷家の菩提としたものである。



Monument of Kayo Gentan

D-4 玄丹お加代の碑

光徳寺には幕末に松江藩を救った俠女として有名な「玄丹お加代」の碑がある。ちなみに減反田を利用したそば栽培による「玄丹そば」のネーミングは彼女の名前にかけている。



Manju-ji Temple

B-2 臨濟宗 妙心寺派 萬壽寺

禅宗の名刹で、ショウブが生えていたことから、菖蒲山という山号がある。二度の火災にあい、再建されて現在に至っている。



Tahara Shrine

B-2 田原神社

通称「春日神社」といい、城北地域の氏神である。享保18年の火災で社殿の大半は焼失したが、藩主によって再建された。社殿は比翼造りでめずらしく、随神門は松江市指定文化財である。



Toukaku-ji Temple

B-2 曹洞宗 桐岳寺

もとは広瀬の富田桜崎にあったが、城が松江に移された時移ってきた名刹である。ここには、小田切備中や清原太兵衛など、歴史に残る人の墓や明治初年に造られた五百羅漢がある。また、「桜崎小学(北堀小学校)の前身」の跡でもある。富田桜崎から移ってきたことからこの地も当時こう呼ばれていた。



Komori Inari Shrine

D-3 児守稲荷神社

別名「地行場稲荷」と呼ばれ、もともとは農業の神様であるが、子供の病気などの治癒を祈って参詣する人が多く「児守稲荷さん」と呼ばれるようになった。



Headquarters of Omoto Shimane

B-4 大本島根本苑

昭和10年12月、不敬罪で教主出口王仁三郎夫妻がここで検挙された、世にいう第二次大本教事件の舞台となった。当時の建物は爆破され、現在は再建されている

地名・通り

Manju-ji Temple Street

B-2・3 萬壽寺通り

戦前までは舗装がされていなかったで、大雨が降ると、一面川のようになり、沢ガニが路を歩いている様子が見られた。この通りの両側が小川で、特に東側は奥谷川と呼ばれ、「さざえ尻」入り口までは小舟で通ることができた。

Ishibashi Street (Former Honjo Road)

C-3・4 D-3 石橋通り(旧本庄街道)

藩政時代から今日まで、城下町の一角のいわゆる職人街を形成してきた。現在も酒造会社や醤油醸造所、そば屋などが営業している。突き当たりの角は、「かぎ型路」として親しまれており、昔ながらの城下町の面影を残している。

Senju-in Temple Vicinity

C-3・4 P 千手院下

石橋通りと交差する小路。カネモリ醤油、綿貫家など、古い町家が残っており、特々な様式の瓦を敷いた屋根、格子窓、蔵など、城下町の情緒がよく残っている通りである。



川・橋・灘・井戸

Site of Ishibashi (Stone Bridge)

C-4 石橋跡

今は完全に舗装されていて、ここに大きな石が渡されていることが分らないが、橋げたを見ると昭和の初期には、大きな石が架けられていたことが窺われる。ここから先が、職人街となっていた。

Large Well

D-3 C-3・4 大井戸

いずれも湧水の後、文久3年に掘られたもので、水質がよく、飲料や、消火用に利用された。
D-3 (李白付近) 井戸の隅に小さな祠があり文久三年と記されている。
C-3 (千手院下) 昔はこの水で酒が造られていた。そばに水神様を祭った祠がある。
C-4 (延命井戸) 延命地蔵のそばにある井戸で、水質がよく湧水期にも水がなくならなかった。(赤井戸ともいう。文禄3年掘られた説もある。)



北堀コース 1.8 kmコース

松江歴史館
▼
宇賀橋
▼
武家屋敷
▼
田部美術館
▼
小泉八雲旧居・
小泉八雲記念館

松江歴史館
▼
宇賀橋
▼
(上横丁)
▼
大本島根本苑
▼
石橋跡
▼
明々庵

奥谷コース 1.6 kmコース (石橋跡から)

(松江歴史館→宇賀橋→明々庵)
▼
石橋跡
▼
島根大学
旧奥谷宿舎
(さざえ尻)
▼
萬壽寺
▼
田原(春日)神社

石橋跡
▼
(延命院丁)・
延命地蔵・大井戸
▼
竹園寺
▼
真光寺
▼
桐岳寺

石橋コース 1.6 kmコース (石橋跡から)

(松江歴史館→宇賀橋→明々庵)
▼
石橋跡
▼
奥谷川灘端
▼
順光寺
光徳寺(玄丹お加代石碑)
(かぎ型路)
▼
児守稲荷神社

石橋跡
▼
千手院
▼
大井戸(千手院下)
▼
綿貫家
▼
カネモリ醤油
▼
大井戸
(李白付近)

- トイレ
- 駐車場
- 一方通行
- 進入禁止